

# 「GUNMAグローバル人材育成事業」 (Be:GM) 生徒保護者説明会



文部科学省官民協働海外留学支援制度  
～トビタテ！留学JAPAN新・日本代表プログラム～  
拠点形成支援事業

「GUNMAグローバル人材育成事業」  
愛称とロゴを作成しました。

愛称：Be:GM（ビージーエム）

Be Global, Move Gunma Forward  
～世界に学び、群馬の未来を切り拓く～  
を由来としています。

＜ロゴに込めた想い＞  
～挑戦する留学生に寄り添うために～  
頭文字のB・e・G・Mを組み合わせ  
「BGM」と重ねることで、  
留学に挑戦する高校生一人ひとりの経験が  
群馬の未来を支える  
「背景の力（バックグラウンドミュージック）」  
となることを表現しています。

GUNMAグローバル人材育成事業 ロゴマーク「Be:GM」（群馬県ホームページより）

令和7年12月

群馬県教育委員会



# 本日の内容

- 1 「GUNMAグローバル人材育成事業」  
(Be:GM) の概要について
- 2 留学支援金について
- 3 応募に当たって
- 4 選考・審査について
- 5 採用後の流れについて



# 1 「GUNMAグローバル人材育成事業」 (Be:GM) の概要について





Hello!

# GUNMA

## グローバル人材育成事業

企業・個人からの御寄附で  
高校生の海外での探究的な学びを支援し  
地域に貢献する人材を育成

国事業「トビタテ！留学JAPAN」を活用し、本県の高校生等に対し、産学官が連携して、諸外国及び諸地域への留学に必要な費用の一部を奨学金・留学準備金として支給することを通して、生徒が、経済的理由から留学を諦めることなく、多くの人々との対話や交流を通して、自ら設定した地域探究に係る課題解決についての見聞を深め、群馬県にイノベーションを起こすことができるグローバル人材の育成を目指す。

- 募集人数：最大50名程度（選考実施）  
※R8年2月27日～募集開始、  
R8年4月 書類選考、R8年5月9日（土）面接選考
- 留学期間（R8年度）：7月10日～10月31日（14日以上93日以内）  
※活動を行わない場合、渡航及び帰国にかかる期間や移動日は、留学期間に含まれない。
- 留学補助金：企業等からの寄附金を原資 最大51万円（返済不要）
- 留学先：外務省が発表する危険レベルのうち、レベル2から4に該当しない地域
- 対象生徒：以下の(ア)又は(イ)に該当する生徒
  - (ア) 本県の高等学校、中等教育学校（後期課程）、特別支援学校の高等部、高等専門学校（第3学年以下に限る。）、専修学校高等課程に在籍する日本人生徒等
  - (イ) 広域通信制高等学校に在籍し県内の通信教育連携協力施設において通信教育を受けている生徒のうち、県内に居住している日本人生徒等（※）。
- ※ 日本人生徒等：日本国籍を持つ生徒等、又は日本への永住が許可されている生徒等
- ※ 在籍する学校の卒業（高等専門学校専攻科においては修了）見込みであることが条件

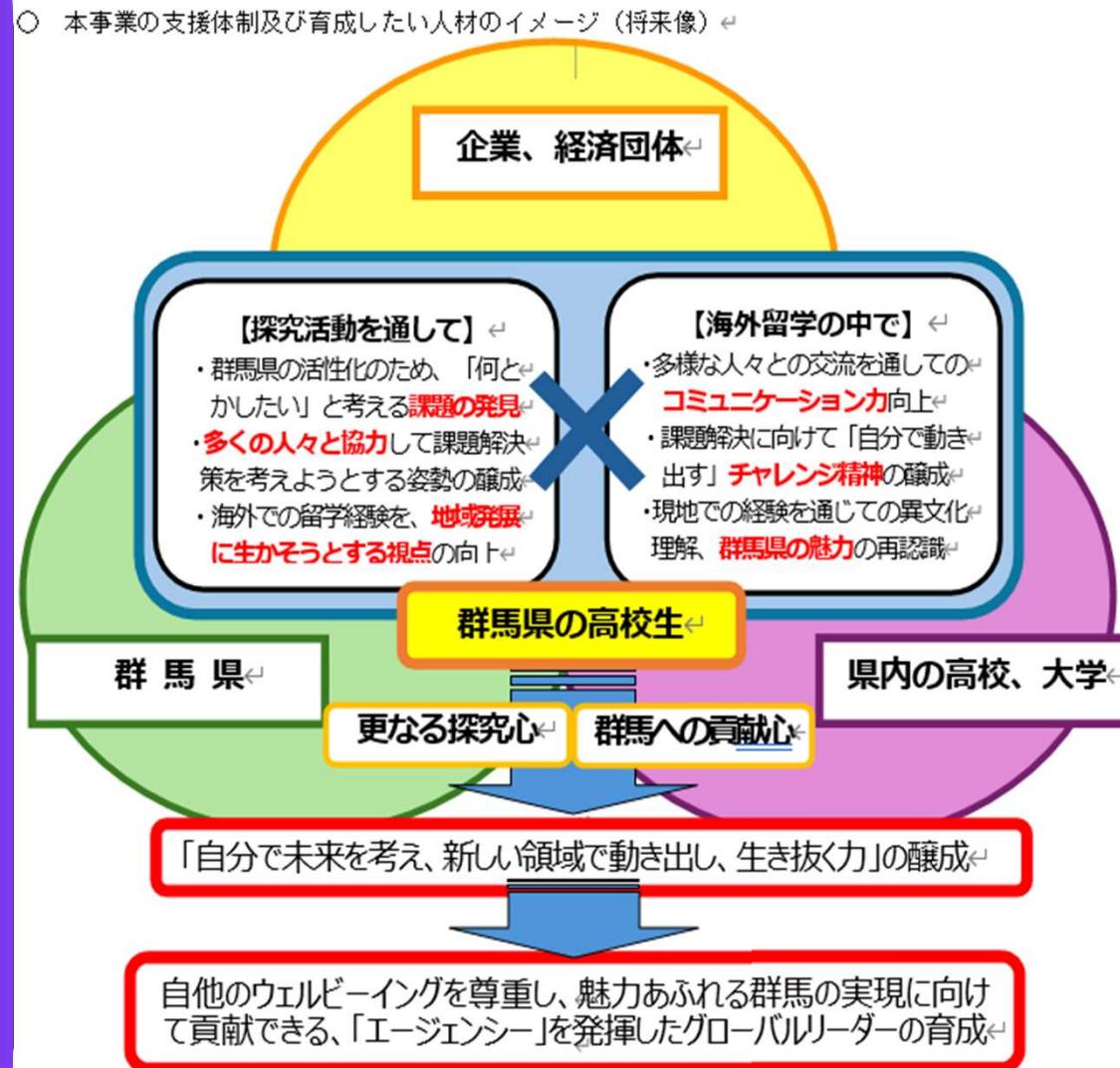


○ 「自分で未来を考え、新しい領域で動き出し、生き抜く」力を醸成

産・学・官が「オールGUNMA」として生徒の留学を支援

○ エージェンシーを発揮したグローバル人材の育成

魅力あふれる群馬県の実現に向けて貢献できる人材



- ・世界の人々との交流を通じて得た学びから、**多様な価値観を柔軟に取り入れようとする意欲**
- ・独自の視点や考えを有し、社会のために**貢献**しようとする志
- ・好奇心を原動力にして、**自由な発想で新たな価値を創造**する力
- ・**探究心**を持ち続け、視野を広げ情報収集しようとする姿勢
- ・失敗を恐れず、未知の領域に**試行錯誤**しながら**挑戦**し続ける強い気持ち
- ・自ら**リーダーシップ**を発揮し、周囲を巻き込む力
- ・多様な人々と真摯に向き合い、**対話して協働**する姿勢

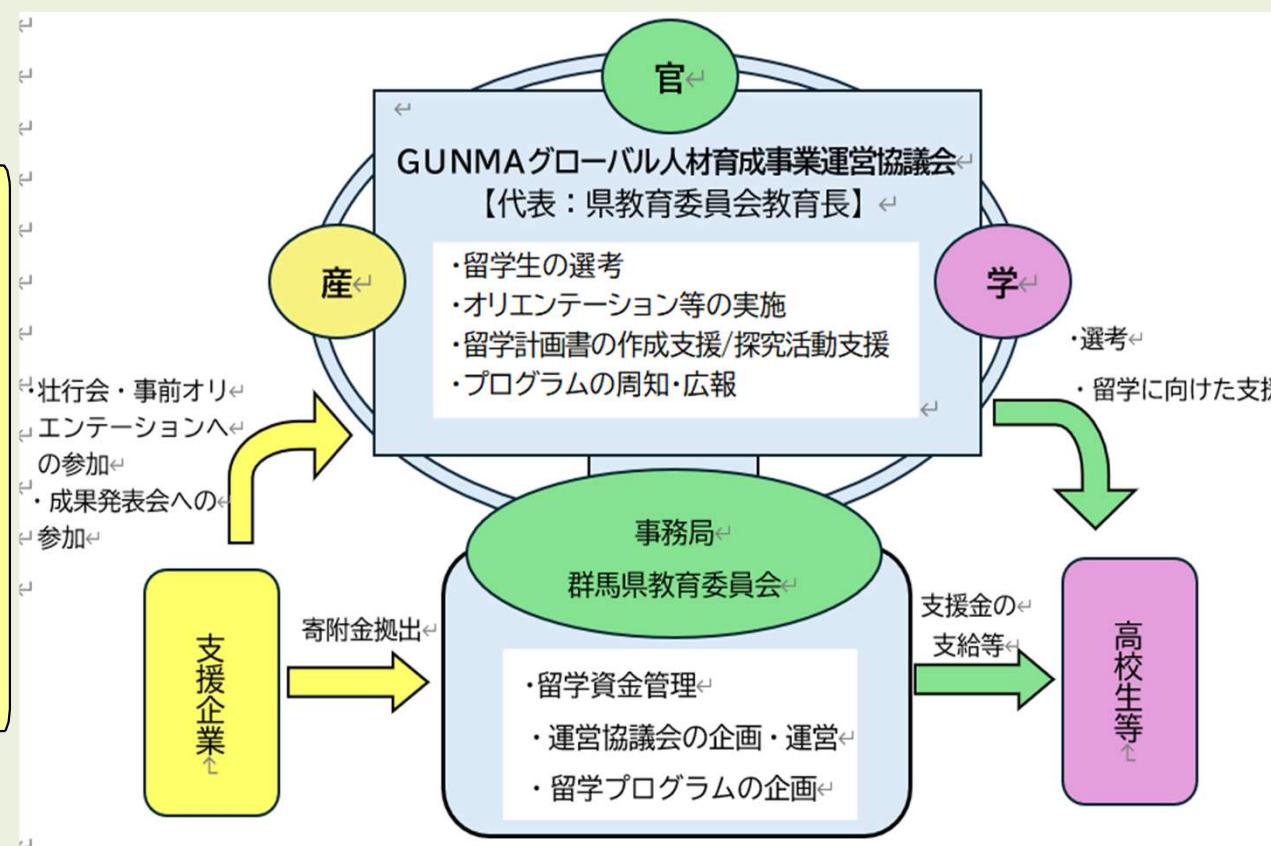


# 1 Be:GMの概要について～運営協議会の運営体制～

**【官】** 群馬県教育委員会、群馬県生活こども部私学・青少年課、  
前橋市教育委員会、高崎市教育委員会、桐生市教育委員会、  
太田市教育委員会、伊勢崎市教育委員会、利根沼田学校組合教育委員会

**【産】**

群馬県経営者協会、  
群馬県商工会議所連合会、  
群馬経済同友会、  
群馬商工会連合会、  
群馬県中小企業団体中央会



**【学】**

群馬県高等学校長協会  
私立小・中・高等学校協会  
県内の15大学

**【他】**

県観光物産国際協会



探究活動

＜留学生の3つのミッション＞

アンバサダー活動

エヴァンジェリスト活動

壮行会

事前研修

事前オリエンテーション

事前準備

アンバサダー活動(※2)

エヴァンジェリスト活動(※3)

探究活動(※1)

事後研修

事後オリエンテーション

留学報告会

派遣留学生ネットワークの構築

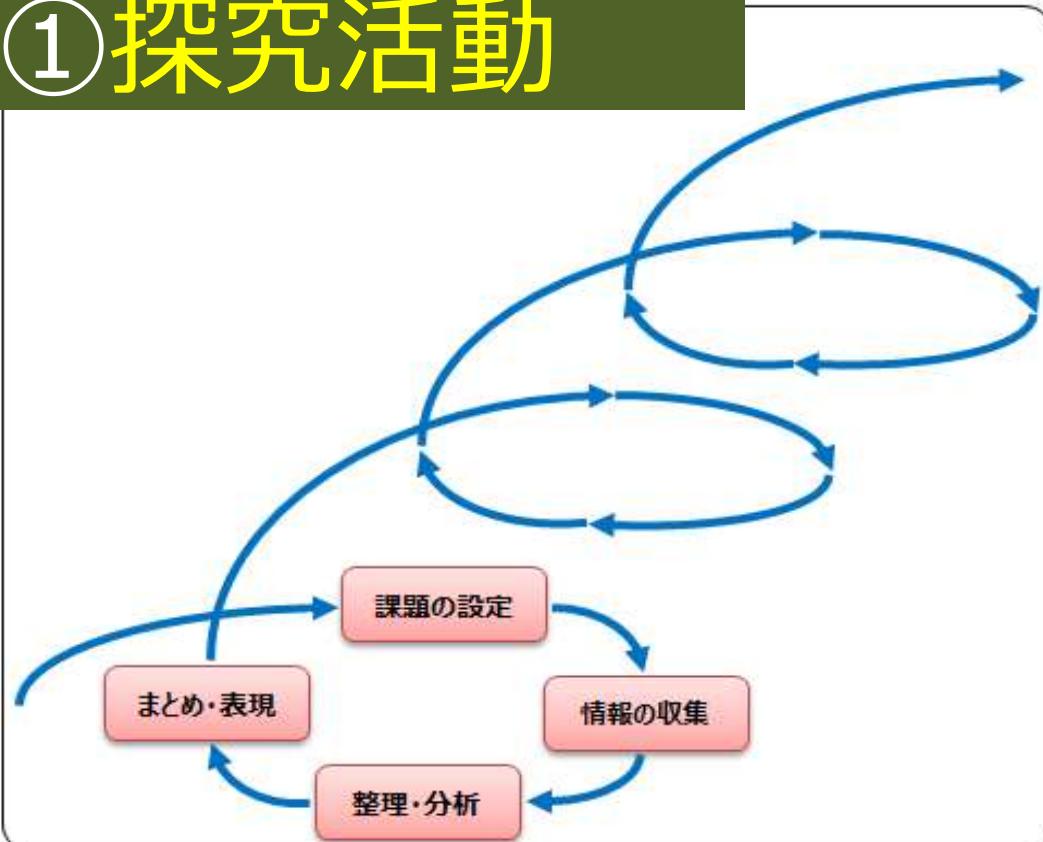
留学前

留学中

留学後



## ①探究活動



### 探究サイクル

- |               |               |
|---------------|---------------|
| <b>STEP 1</b> | <b>課題の設定</b>  |
| <b>STEP 2</b> | <b>情報の収集</b>  |
| <b>STEP 3</b> | <b>整理・分析</b>  |
| <b>STEP 4</b> | <b>まとめ・発表</b> |

自らの興味、関心に基づいて「問い合わせ」または「課題を設定」し、解決に向けて「情報を収集・整理・分析」したり、周囲の人と意見交換・協働したりしながら進めていく活動のこと。自ら「問い合わせ」や「課題を設定」し、試行錯誤しながら自ら答えを導き出す「探究心」を大事にしながら行う。

## ①探究活動

### 調べて発信する型

知りたい・調べたい  
↓  
調べよう・やってみよう  
↓  
わかったことをまとめよう  
↓  
発信しよう



調査活動（INPUT）がメイン  
活動の流れが単調  
やりがいや達成感が得にくい



ココが  
重要！

### 思いを形にする型

何とかしたい・やってみたい  
↓  
必要な情報は何か調べたい  
↓  
やってみたい・作ってみたい  
↓  
専門家に見てもらい、改善したい  
↓  
できたものを提案したい



形にする活動（OUTPUT）がメイン  
活動の過程で専門家等と関わる  
失敗を改善するトライ&エラーの学び  
やりがいや達成感が得られる



（義務教育課「総合的な学習の時間で児童生徒と教師も楽しく探究！」令和4年2月）

## ②アンバサダー活動

留学先で日本や群馬県の地域の良さを発信する活動

例) 日本文化紹介・出身地の魅力を発信する  
和食をホストファミリーにふるまう など

発信することで、今まで気づかなかつた  
日本や群馬県の良さを再認識



### ③エヴァンジェリスト活動

- ・留学中・帰国後に、留学の魅力や留学で得た体験を周囲（県内の小中高校生など）に伝える活動
- ・場所や手段等については、生徒各自が実施可能な方法で行う。

例）活動報告会の開催やSNSでの情報発信

「探究を伴う留学活動を通して、**地域貢献**したい」と思える生徒の育成



## コース①：最大40名程度

## コース②～⑤：合計 最大10名程度

- ① エージェンシーを発揮しよう！GUNMAグローバル人材育成コース（県独自の地域探究コース）  
群馬県の特性である諸分野（多文化共生、ものづくり産業、地元資源、デジタル人材など）に関する課題を設定し、その課題解決に向けて取り組む探究活動が含まれた留学計画。
- ② マイ好奇心  
探究コース  
「知りたい」、「明らかにしたい」という自らの興味・関心に基づいた問い合わせを設定し、「未知を既知」にすることや「疑問を解明」することを目的に行う探究活動が含まれた留学計画。
- ③ 社会課題探究  
コース  
世界・日本・地域が抱える社会課題を自分ごととして考えた問い合わせを設定し、課題解決や活性化、SDGs、社会貢献に寄与することを目的に行う探究活動が含まれた留学計画。
- ④ STEAM探究  
コース  
STEAM（科学・技術・工学・芸術・数学）領域における問い合わせを設定した探究活動を含む留学計画や、問い合わせに対してAIやIoT、理科の見方・考え方や数学的な見方・考え方を活用しながら行う探究活動が含まれた留学計画。
- ⑤ スポーツ・芸術  
探究コース  
実技経験や実績の有無にかかわらず、スポーツ・芸術分野における問い合わせを設定し、当該分野の更なる発展に寄与することを目的に行う探究活動が含まれた留学計画。

## コース①とコース②～⑤の違い

募集人数 最大40名程度

① エージェンシーを発揮しよう！  
GUNMAグローバル人材育成  
コース

群馬県に関わる課題の解決  
に向けた探究活動を想定  
(群馬県の活性化につなげる活動)

※ コース① 最大40名程度  
コース②～⑤ 合計 最大10名程度

募集人数 合計 最大10名程度

② マイ好奇心探究コース

③ 社会課題探究コース

④ STEAM探究コース

⑤ スポーツ・芸術探究コース

群馬県の課題に限らず、  
日本や世界に関する課題解  
決に向けた探究活動を想定

① エージェンシーを發揮しよう！GUNMAグローバル人材育成コース  
 (県独自の地域探究コース) **5つの系統 (ア～オ)**

系 統	ね ら い
ア 多文化共生・多様性	人種や国籍、性別、年齢、文化などの違いにかかわらず、多様な生き方や価値観を尊重し、すべての人が暮らしやすい地域社会づくりに寄与する人材を育成する。
イ ものづくり	自動車をはじめとした製造業などの群馬県の既存産業に、最先端技術を掛け合わせた産業の育成に寄与する人材を育成する。
ウ 自然・環境保全	豊かな自然や変化に富む地元の環境を未来へつなぐ持続可能な群馬県の在り方について学び考える人材を育成する。
エ GUNMA魅力発展	地元の資源をはじめとした様々な分野（衣・食・住、観光、スポーツ、芸術、政治、行政、教育、メディア、ファッション、郷土文化、医療、栄養、言語、健康・福祉、防災等）において、群馬県の魅力発展につながるプランについて実践的に学び考える人材を育成する。
オ GUNMA×デジタル	群馬県の特色に関する様々な分野とデジタル分野（デジタルクリエイティブ分野含む）を結び付けながら、デジタル技術を活用して主体的に課題を発見・解決し、群馬県の地域活性化のために新たな価値を創り出そうとする人材を育成する。



## 最大4名までのチーム応募が可能

- ・全員が同じ国・地域・時期に留学する必要はない。
- ・チームで力を合わせ、自由な発想力と創造力をもって、地域課題の解決に向けて探究することができる。

### <活動例>

#### 「八木節留学～八木節の魅力を世界に広めるために～」

群馬県の伝統芸能である八木節をチームで紹介し、八木節を継承していくまでの諸課題や解決策について、現地の人々と意見交換するなどの探究活動を行う。帰国後、群馬県や地元機関に対し、八木節の魅力を更に広めていくための提案を行う。

## 【探究活動例 1】

「エージェンシーを発揮しよう！ GUNMAグローバル人材育成コース」  
ものづくり系

問い合わせ 「自動車産業が盛んな群馬県において、電気自動車を普及させていくのに必要なことは？」

### ＜活動内容＞

- ・県内の自動車会社へのインタビューを行い、日本において電気自動車の普及が進まない理由について、仮説を立てる。
- ・電気自動車の普及している国に留学して、インフラの状況を調べたり、関係企業へのインタビューを行ったりする。
- ・帰国後、電気自動車を普及させていく上で大切であると考える事柄について、SDGsの関連項目を踏まえてまとめる。



## 【探究活動例2】

「エージェンシーを発揮しよう！GUNMAグローバル人材育成コース」  
GUNMA魅力発展系

問い合わせ 「群馬県の特産品こんにゃくを世界に広めるには、どうすればよいか？」

### ＜活動内容＞

- ・こんにゃく農家や製造している企業に事前インタビューしたり、こんにゃくの輸出先や海外での使用状況を調査したりして、こんにゃく製品を世界に広めるために大切なことについて、仮説を立てる。
- ・海外でこんにゃくを使った料理を提供しているレストランを訪問し、外国人に好まれる調理方法について、レストランの客にアンケートを実施する。
- ・帰国後、地元企業と相談しながら、海外で調査した内容を基に海外の人には好まれるオリジナルレシピを地元企業に提案し、新商品開発を通じた地元産業の活性につなげる。



## 留学前

### 【壮行会・事前オリエンテーション】

- ・(東京会場) 令和8年6月13日(土)又は14日(日)

※ 群馬県は6月13日(土)を参加推奨日としています。

※午前:壮行会(参加任意)

午後:事前オリエンテーション(**参加必須**)

- ・(群馬会場) 令和8年6月20日(土)

※午前:壮行会(**参加必須**)

午後:事前オリエンテーション(**参加必須**)

本協議会事業担当からの説明や支援企業、留学経験者、派遣留学生同士の交流  
→プログラムの趣旨・目的等の理解や親睦を深めるとともに、自身が設定した  
留学計画や探究課題のブラッシュアップ等を行う。



## 留学後

### 【事後オリエンテーション】

- ・ (東京会場) 令和8年9月以降、複数回実施

※いずれか1回に参加

- ・ (群馬会場) 令和9年1月下旬

- ・ 留学計画の達成状況や留学先での経験を振り返るとともに、探究活動の成果等についての情報交換を実施予定。
- ・ 活動報告書のまとめや**成果報告会に向けて**、現地での学びを生かし考察・検討した地域課題解決策や地域貢献策についてのブラッシュアップ等を行う。

### 【留学報告会】

- ・ (群馬会場) 令和9年3月上旬

- ・ 探究型海外留学の活動実績及びプログラムを通じての学びや自身の変化の報告、海外での探究活動を踏まえた地域課題解決策や地域貢献策についての提案等を、本協議会関係者、留学に関心のある児童生徒及び一般県民の方々に向けて実施。